

平成24年度 古市小学校 第1学年「図画工作科」シラバス

【学習の目標】

- ① 進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。
- ② 造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにします。
- ③ 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにします。

【学習する主な内容】

	単元名	主な学習内容
4 5 6 7 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ○かんじた ことを ・ ○かたちや いろを たのしもう ・ ○おひさまにここに ○すきな もの なあに ・ ○みんなでかざろう ○すなや つちとなかよし ・ ○ねんどで つみき ○どんなかたちの かみにも ○おってたてて ゆめのまち ○クッキーやさんに なるう ○ドアのむこうに ○ならべてつんで ○かたちから うまれたよ ○かげを うつして 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感じたことや心に浮かんだことを、いろいろな表し方でどんどん表すことや、1年生で学習する図画工作のめあてを知る。 ・ 生活の中で目にする野菜や果物、衣服や建物、風景などの形や色のよさや面白さ、美しさに気付く。 ・ クレヨンやパスでかくことを楽しみながら基本的な扱いを身に付け、自分の好きな形や色で絵に表す。 ・ クレヨンやパスなどを使いながら自分の好きなものをかくことを楽しむ。 ・ はさみの扱いに慣れ、紙の切り方を工夫して、教室が楽しい感じになる飾りをつくる。 ・ 砂や土の感触を十分に味わいながら、造形的な活動を思い付く。 ・ いろいろな形のかたまりを組み合わせながら、自分の思いに合った形をつくる。 ・ 紙の向きを変えて見ながら表したいことを思い付き、そこから発想して絵に表す。 ・ 紙を折って立てることを理解し、切り方を工夫して好きなものを表す。 ・ クッキーやさんになった気持ちで、食べてみたくなるようなクッキーの形や色を工夫して、粘土でつくる。 ・ ドアのように開く画面の仕組みを生かして表したいものを発想し、表し方を工夫しながらかく。 ・ 木片や空き箱など、身近にある材料の形を基に並べたり積んだりしながら、思い付いたものをつくる。 ・ 切ったりちぎったりした紙を、並べたり組み合わせたりしながら、楽しく絵に表す。 ・ 映った影から気に入った形を見付け、身の回りある形の面白さに気付く
10 11 12 1 2 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ○おはなし だいすき ・ ○はこの なかまたち ○どうぶつさん だいすき ・ ○いろいろ ペット ・ ○かんじたこと、おもったこと ○なにに なるかな ・ ○のって みたい ○ニョキニョキ とびだせ ・ ○プレゼントを どうぞ ○コロコロ ゆらゆら 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いたり読んだりした物語の内容を、想像を働かせ、自分なりに工夫して絵に表す。 ・ 集めた材料の形や色を生かして組み合わせ、楽しい形になるように立体的に表す ・ 粘土の扱いに親しみながら、仲良しになりたい好きな動物のイメージを立体に表す。 ・ 体全体を働かせながら写す活動を楽しむ。 ・ 身近にあるものをこすり出しながら、形を写し取る活動を楽しむ。 ・ 日常生活から表したいことを見付けて、クレヨンやパスなどを用いて楽しく絵に表す。 ・ 身の回りにある材料の形や色に気付き、並べ方を工夫しながら、好きな形をつくる。 ・ 自分が乗ってみたいものを楽しく想像し、表し方を工夫しながら絵に表す。 ・ 息を吹き込むと膨らむポリ袋の特性を生かした仕組みを使って、楽しい箱をつくる。 ・ 紙を折って箱をつくる方法を知り、プレゼントを入れるすてきな箱をつくる。 ・ ものが転がる仕組みを生かし、楽しく遊べるおもちゃをつくる。

【保護者の方へ】

工作に使う材料集めをご家庭をお願いすることがあります。ご協力をお願いします。
 学校では絵の具道具を洗いません。使ったその日のうちに家で洗って次に備えておくように声をかけてあげてください。よろしく申し上げます。
 作品を持ち帰りましたら、子どもの思いを大切に、頑張りをはめてください。